

6-14 地殻活動総合観測線による観測結果（暫定値）
（1991年1月1日～1991年6月30日）

**Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District
(Tentative Values)**

京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute
Kyoto University

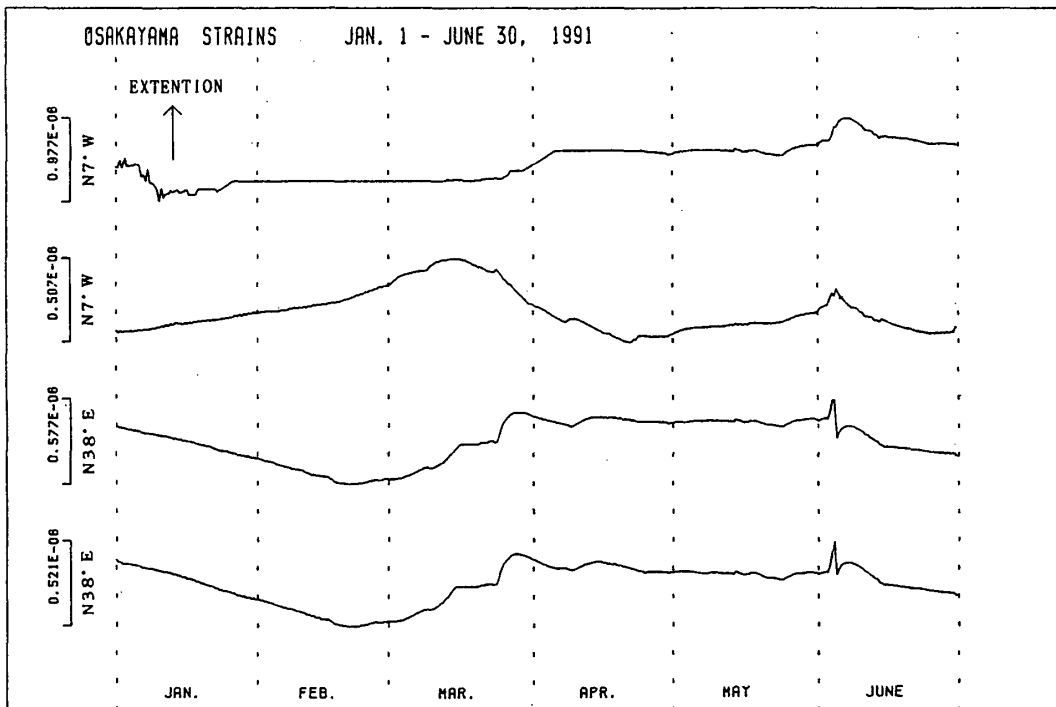
北陸近畿および近畿山陰両観測線のうちから、今回は第1図に示す逢坂山、由良および紀州の3観測点における主な観測成分について、1991年1月1日から同6月30日までの半年間の観測結果を示す。第4図に見られるように、紀州には3台の水管傾斜計が設置されているが、第5図の紀州の水管傾斜計についてのベクトル表示は、N89°EとN129°E方向の2成分の結果から合成したものである。

ひずみおよび傾斜の両観測結果とも、降雨にともなって通常現われる変化をしめしているが、それ以外には、観測のための入坑時の影響など人為的な変化を除き、特筆すべき異常は認められない。



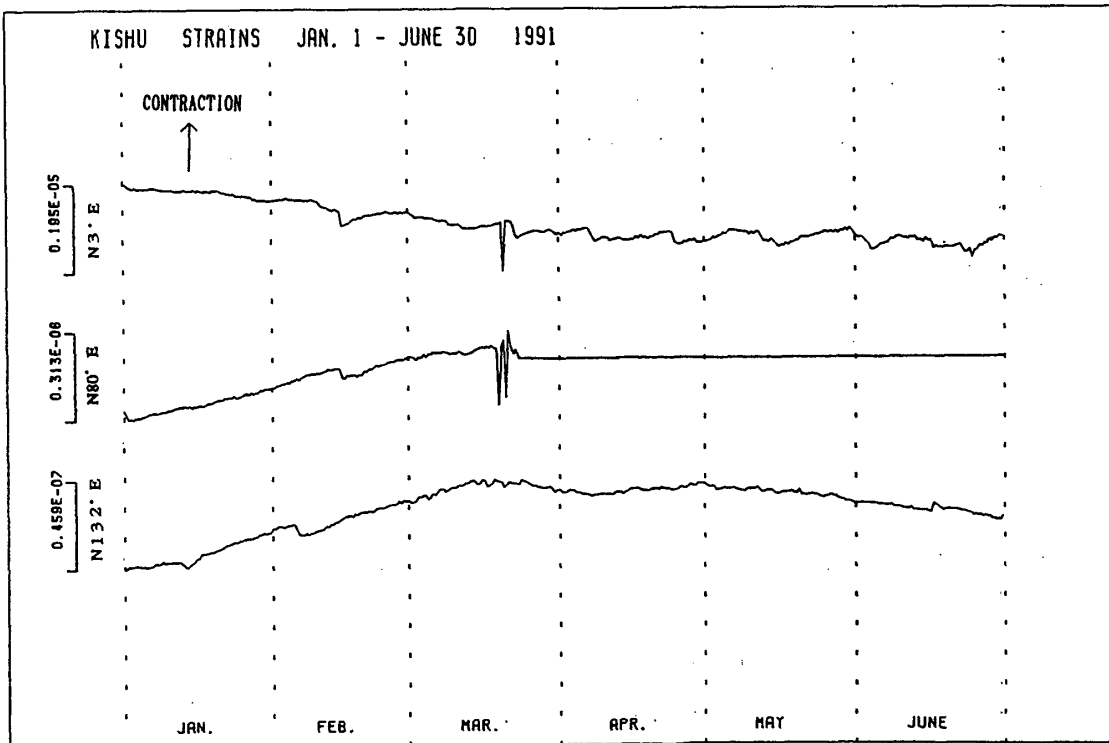
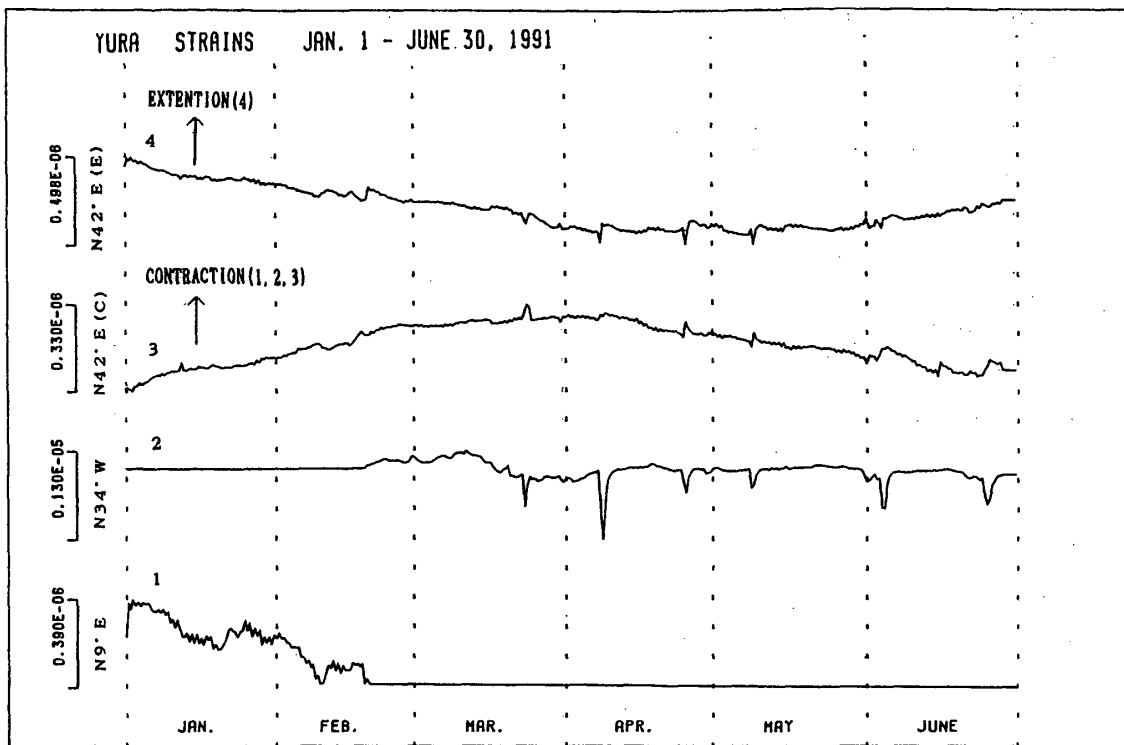
第1図 位置図

Fig. 1 Observation stations.



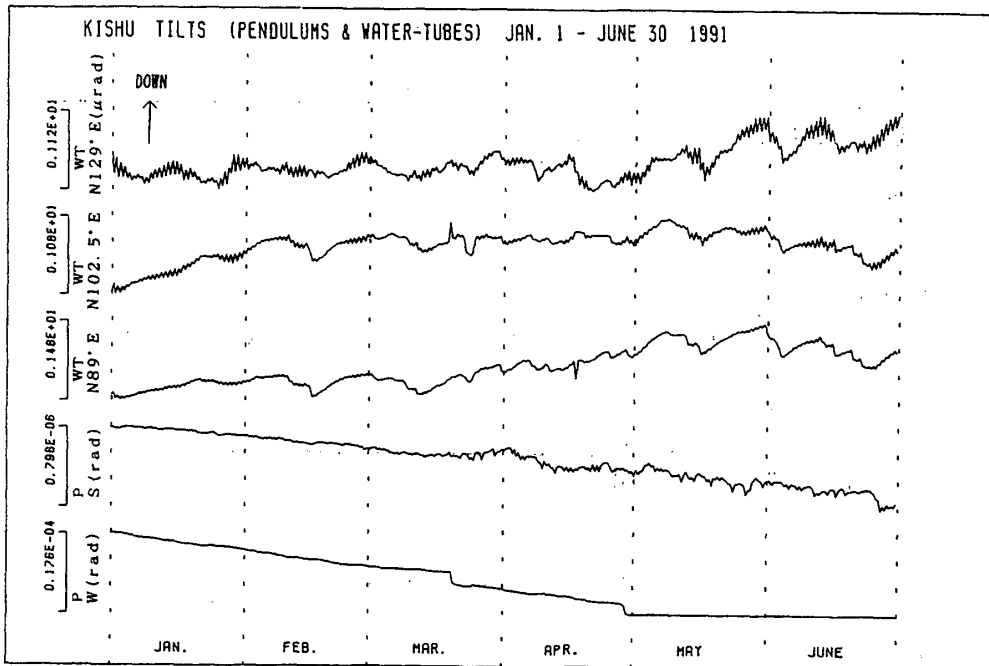
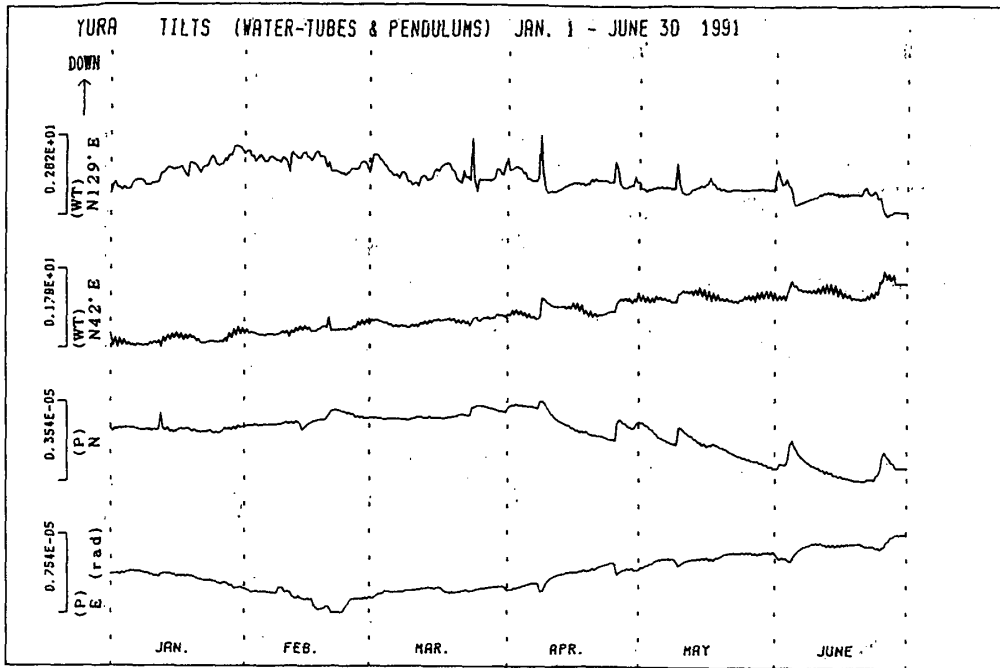
第2図 逢坂山におけるひずみ変化

Fig. 2 Strain changes at Osakayama.



第3図 由良および紀州におけるひずみ変化

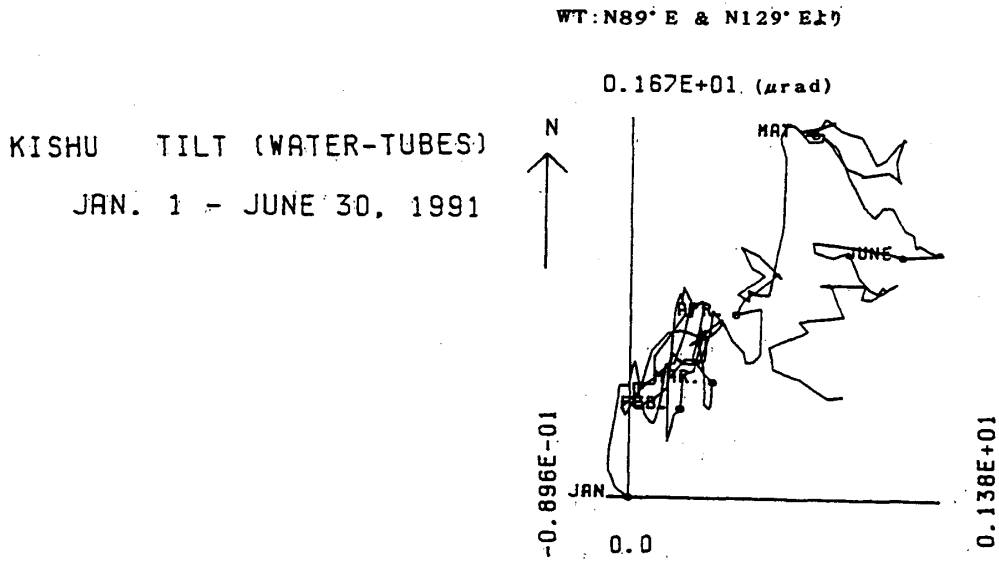
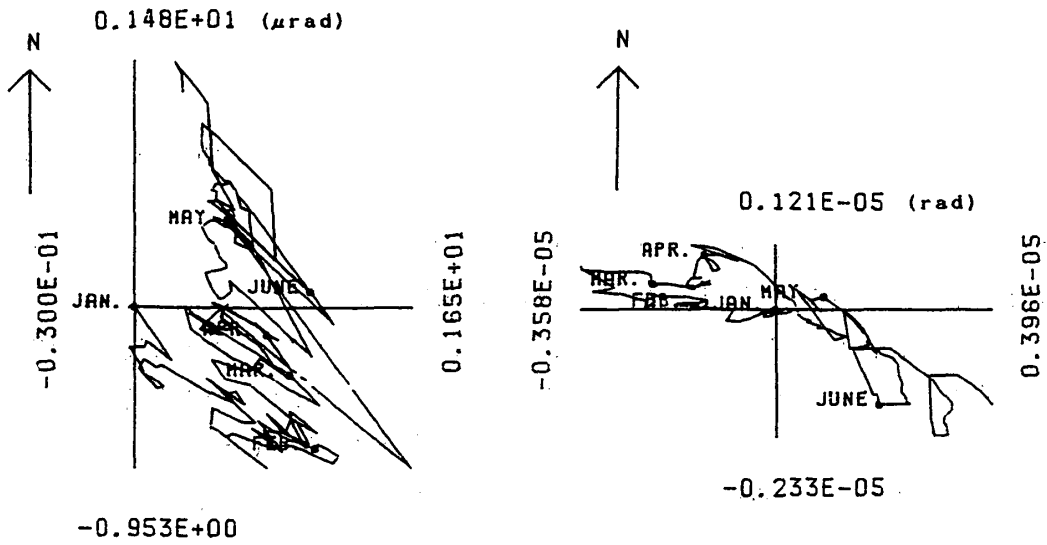
Fig. 3 Strain changes at Yura and Kishu.



第4図 由良および紀州における傾斜変化

Fig.4 Tilt changes at Yura and Kishu.

YURA TILTS (WATER-TUBES) JAN. 1 - JUNE 30, 1991 (PENDULUMS)



第5図 由良および紀州における傾斜ベクトル図

Fig. 5. Vectorial presentation of tiltchanges at Yura and Kishu.